

## コロナ騒動と日本人

現代の日本人が経験したことのない、コロナウイルスの病で日本中が右往左往していますが過去に色んな疫病がありました。数えられない疫病を何度も乗り越えてきたのです。その証明が日本の2000年以上の歴史です。

小生は1958年生まれです。戦争中の事は全く知りません。しかし水洗トイレになる前のトイレ事情は知っています。お風呂も五右衛門風呂でした。水道も今ほど整備されていませんでした。電気もそうでした。インターネットどころか携帯電話も有りません。地方に電話をかけるのも電話交換手に電話してから、通話をしていました。

何もかもが、便利になってきたのです。その便利さに慣れ親しんできた所に見るコロナが襲い掛かってきたのだと認識しています。

身の回りの人間が作ったあらゆる物が抗菌処理されています。それは一見良いのかも知れませんが、地球の営みと言うか、正しい食物連鎖から見て本当に正しい生き方なのでしょうか。

今回のコロナは、我々人間に警告を与えていると考えています。2011年に起こった東日本大震災、昨年と一昨年の台風被害、熊本地震等の人間界には災いかもしれませんが、地球に存在している人間以外の生き物達の営みなら、特別な事ではないかとも思っています。

東日本大震災の2011年の放射能の影響と今回のコロナの影響を客観的に見ます。

- 1、放射能は見えないが、ガイガーカウンターで測る事が出来る。
- 2、高レベル放射能に触れると即死する。
- 3、人間が作ったのが放射能被害です。
- 4、物理的に放射能管理は難しいが、可能である。
- 5、ウイルスも放射能と同じで見えない。
- 6、ウイルスは見えないが、時間をかけて測定するとぼやっとは測れる。
- 7、ワクチンを作る事が出来る。
- 8、免役を付ける事が出来る。

ところで人間には108つの煩悩が有ると言われています。その煩悩の根本には変化はない筈です。文明が発展すると、煩悩の手法が変化するだけだと、最近考える様になりました。

例えば旅行です。小生の両親の新婚旅行は白浜でした。小生の新婚旅行はニュージーランドです。列車から飛行機に移動手段が変化したのですが、簡単に移行したのでは、決して有りません。坂本九ちゃんの搭乗した日本航空の御巣鷹山の事故以降、日本国内の飛行機事故は激減したのでは有りませんか。数えられない事故を経験してきたからこそ、飛行機と言う乗り物を上手くコントロールできたのではないのでしょうか。

小生は学者でもないし、頭も良く有りませんが、物事を客観的に見ないと駄目だと言う訓練に慣れ親しんできました。そのおかげで今回のウイルスの事象を客観的に見れば、日本人に不足していることが解ります。

- 1、日本人は世界中の人々のお陰で現実に存在しているのに、意識が低い傾向にある。
- 2、物を大事にする国民性なのに、案外大事にしていない。
- 3、平和は勝ち取るのです。与えられるのではないと言う事が解っていない。

今回のウイルスの被害が大きくなる様子を祈っていますが、現時点で何も解りませんが、

今回のコロナの事では以下のように認識しています。

- 1、金融が（保険等も含む）世界中に繋がっている現実を直視すると、グローバル化は避けて通れない。
- 2、人・物・金が一瞬で地球を一回転する世の中なので、経済を除く文化は反グローバル化の流れになると思います。
- 3、小生は1958年生まれです。勉強はあまりしませんでした。しかし柔軟に頭を使う訓練を亡き父親に徹底的に仕込まれました。今の若い子供達は勉強をしています、生きる知恵が昔に比べると多くないと感じます。
- 4、小生は経済の専門家でもないし、官僚でも有りません。しかし受給バランスの事を多少は勉強しました。近い将来インフレが来ると想像します。
- 5、毎年何かの災いが来る世の中だと言う認識が有るのと無いのでは、価値観が違う。

何もない事が幸せですが、108つの煩悩が有る以上、人間と地球環境全体との付き合い方が試されているのが、今回のコロナの警告だと思っています。

## 明るいニュースが欲しい

2011年3月11日に起きた東日本大震災の年に、日本で生産された競争馬が世界一になったニュースを覚えていますか。

ついに日本のサラブレッドが世界の頂点に立った――。現地時間3月26日夜（日本時間27日未明）、ドバイ・メイダン競馬場で行われた世界最高賞金（1着600万ドル＝約4億8000万円）のドバイワールドカップを日本馬がワンツーフィニッシュで制し、震災でうちひしがれた遠い母国に勇気と元気を送った。

上記がネットに掲載されている記事です。凄く嬉しかった事を思い出します。ところで小生は昔から無類の競馬ファンです。オグリキャップよりもっと昔、テンポイントと言う名前の名馬からの馬好きです。コロナ騒動で現在は残念ながら競馬場も相撲同様、無観客にて開催されています。プロ野球みたいに中止はしていないのが、唯一の救いでは有りますが、こんな年だからこそ、昨年亡くなったディーピンパクトやキングカメハメハの様なスターホースが出てきてくれることを期待しています。現時点で一番期待しているのは、コントレイルと言う馬です。厩舎は昨年の有馬記念を勝ったリスグラシューを育てた矢作厩舎、馬主は関西に所以の有るノースヒルズ、騎手は天才と言われながら不運の事故で引退した福永洋一の息子さんの福永祐一です。私の夢はコントレイルが2020年のナンバーワンの競争馬になれば、特に関西も大盛り上がりになるに違いないと思います。